

題「自由吟」

弘兼 秀子 選

特選

山折りも谷折りもあり終着地

東広島市 寺内由美子

【評】人の一生にある出来事を「山折り谷折り」と表現し、説得力を持つ。喜びも悲しみも今は達観した境地だ。

一瞬の沈黙本音が聞こえる

広島市 豊田 佳子

【評】ある事を抱えていて、ズバリと問われた場面だ。苦しい胸の内を「沈黙」に込め、声なき本音を聞く。

古典読む心が満ちる秋の夜

福山市 新庄 芳春

【評】時は正に芸術の秋だ。古典を紐解きその奥深さ、美しさに触れた。崇高な世界に魅了された格調高い句だ。

やさしさの種こぼれまた命生む

呉市 荒新 悠子

【評】人のやさしさのリレーが、自然の摂理と共に描かれ、希望の句となった。平和の原点を世界に届けたい句だ。

ひたすらに精進をして今日眠る

福山市 石井小魚二

【評】ひたすらに心を打ち込み励む日々を送っている。高ぶった疲れには充実感がある。心地良い眠りに落ちた。

紆余曲折流れた果ての現在地

広島市 大杉 卓雄

老介護次の宿題待つ覚悟

江田島市 住田 照水

朱の筆にたつぷり未来ふくませる

廿日市市 迫本 苑子

何もかも繋がっている綾なして

広島市 米田 恵子

二幕目を一緒に生きる後遺症

江田島市 問可 圧子

悔いだけは残したくないシャボン玉

広島市 常國 喜好

励ましの声に明日へ向く一歩

呉市 山本 檀

ふる里に安寧の場がある山河

廿日市市 石川 ゆう

ローカルの線路昭和を乗せて消え

広島市 原 幽貴

約束を果たせぬままの墓まいり

福山市 早川 迷子

ロシア語を翻訳できぬ恐怖心

広島市 小西 博子

蔓草のからむ空家の錠堅し

三次市 林 勝子

太陽が転がっている炎天下

広島市 羽城 裕子

花火背に福山城の晴れ姿

福山市 坂本 信子

表情筋次の言葉を弾ませる

広島市 川本 敏雪

仕合わせは自分らしさで居れる場所

尾道市 小川 道子

元気だと風の便りに乗せてみる

東広島市 岡田千賀子

老い二人風を求めて瀬戸暮らし

竹原市 室 晃二

無名にも七十年のドラマ有り

呉市 熊川 勝彦

もがいても必ず明日はやってくる

県立呉宮原高等学校二年 田中 莉乃